青藍会会報

第 97 号

徳島大学医学部医学科同窓会



教授 桑 原 知 巳 香川大学医学部分子微生物学



大河原高原の紫陽花

撮影 西内貴子 (医学部25期)

青藍金総金開催のご案内

日時: 令和3年7月11日(日)10時30分~16時30分

場所: ハイブリッド開催(ZOOMによるリモート・青藍会館大会議室)

1 議事(10:30~12:30)

2 昼休憩 (12:30~13:45)

3 2020年度青藍会賞の発表及び授与(13:50~)

4 2020年度青藍会賞受賞講演 (14:00~14:30)

徳島大学病院内科(血液内科)講師

原 田 武 志 先生(医学部53期)

演題「多発性骨髄腫の難治性病態解明と新規治療開発のための 統合的アプローチ」

座長 安倍正博先生

5 2019年度青藍会賞受賞講演 (14:30~15:00)

徳島大学大学院医歯薬学研究部薬理学分野准教授

石澤有紀先生(医学部54期)

演題「薬剤誘発性大動脈解離易発症モデルマウスの確立と

大規模医療情報データベースを用いた予防薬探索」

座長 玉置俊晃先生

6 学術講演(15:00~16:30 1人30分 質疑応答含む)

山口大学大学院医学系研究科器官解剖学教授

中村教泰先生(医学部38期)

演題「ナノ医学・セラノティクスの発展に向けて」

座長 玉 置 俊 晃 先生

川崎医科大学病熊代謝学教授

松 田 純 子 先生 (医学部35期)

演題「スフィンゴ脂質の構造多様性と疾患: 小児の希少難難病から

生命の動作原理の解明へ」

座長 荒瀬誠治先生

兵庫医科大学上部消化器外科主任教授

篠原 尚先生(医学部35期)

演題「臓器の隙間を科学する」

座長 大串文隆先生



リモートでの参加をご希望の方はメールにてご連絡をお願いいたします 青藍会事務局 seiran@tokushima-u.ac.jp

なお、会場へお越しいただくことも可能ですので、同封のハガキにてご連絡をお願いいたします

同窓会について

青藍会副会長 大 串 文 降 (医学部24期)

今年度から徳島大学医学部同窓会青藍会の副会長を拝命いたしました。

私は昭和53年に卒業し、螺良英郎先生が主任教授であった第三内科に入局、大阪府立羽曳野病院、NIHへの留学、その後大学で臨床・研究・教育に従事し、平成12年に統合した新国立高知病院に診療部長として赴任しました。平成20年に院長となり令和2年3月退任して20年ぶりに徳島に帰ってきて現在博愛記念病院に勤務しています。前会長の桜井先生からお電話をいただき青藍会のお手伝いをすることになり、荒瀬会長、役員の方々と青藍会発展に努めていきたいと思っておりますので、ご支援の程よろしくお願いします。

一般に同窓会はその学校の卒業生同士が当時を振り返るために集まるイベントである「懇親会」と、卒業生により組織される非営利団体である「後援会」の2つに大別されます。後援会としての同窓会は同窓生間の親睦・音信、母校・後輩への後援などを目的として組織され、総会を開催、会誌の発行などの活動を行い母校に対して卒業生の総意を示す団体として存在します。徳島大学医学部医学科の同窓会の名称は「青藍会」で後援会にあたります。

青藍会設立の経緯について, 先日渡辺恒明先生(6期)の書かれた「青藍の碑」(日本医事新報: 平成23年1月)を手にすることができ読ませていただきました。同窓会名は昭和29年に学内公募 による20数題の中から医大2期の十河実先生の「青藍会」が、「古語に青は藍より出でて藍より 青し(荀子)という、出藍の才などの言葉はここからでて、研究者には適当であって、阿波藍に も通う」として圧倒的多数で採択されたと書かれています。70年近い長い歴史を持つ同窓会です が、研修医制度の導入以来徳島大学においては同窓会離れが危惧されていますが、同窓会は横の 人間関係に加えて縦の人間関係を構築でき世代を超えて多くの同窓と交流することで人間関係が 拡がり人生を豊かにすることができます。NIHに留学した時のことですが、友人が、東大の同 窓会(鉄門会)に参加するため早く帰宅したことがありました。聞いてみると同窓会はワシント ンでは定期的に開催され多く会員が参加するとのことで鉄門会の絆の強さを感じましたが.日本 から離れて生活していることも関係したのかもしれません。私も県外にでて初めて青藍会が団結 力のある、大きな組織であることを実感しました。国立高知病院は歴代の院長も青藍会から多く 輩出し徳島大学の重要な関連病院です。新規に開院したため様々な問題に直面し立ち上げに難渋 しましたが、青藍会の先生方から多大な支援を受けうまくスタートをきることができました。ま た、赴任が決定した際、当時厚生省で要職についておられた先輩の上田茂先生を紹介していただ き、国立病院での取り組みについて多くのアドバイスを受けました。高知では定期的に青藍会支 部会が開催され参加することで同門の先生方と知り合い、親交を深めいろいろな助言をいただき ました。青藍会は会員の強い絆で結ばれた同窓会となるべきと思いますし、帰属意識の高い会員 が増え、後援会として大きな活動ができるようになることを願っています。

	·····································			
○題	字	原	知	巳
○写	真西	内	貴	子
○青藍会総会	開催のご案内			
○巻 頭	言	串	文	隆
○青藍会の助用				
医学科支持	爰について赤	池	雅	史 1
青藍会奨	励賞の授与(令和 2 年度臨床実習後OSCE成績優秀者表彰者)	• • • • • •	• • • • • •	2
徳島大学	病院卒後臨床研修センターの活動報告安	倍	正	博 3
○青藍会賞募	享集	• • • • • •	• • • • •	4
○元青藍会会:	長 渡辺恒明先生ご逝去	• • • • • •	• • • • • •	5
	荒	瀬	誠	治 6
	丹	黒		章 7
	安	岡		劭 8
○支 部 紹	介	• • • • • •	• • • • •	10
○支 部 だ よ	b b			
北海 道	支 部石	丸	裕	晃12
東京	支 部	井		勝12
兵 庫	支 部	林		勇13
岡 山	支 部;	野	昌	明14
○会 員 通	信			
青藍 創	刊号に陽の目を	Ш	知	足15
開業50周年	年に際して 一くすしの冥利―	重	昭	郎16
今時の大理	绿性貧血渡	辺	圀	武 …17
COVID-1	9と抗加齢医学板	東		浩 …17
ポプラ会会	会報 第92報・第93報四	宮	孝	昭18
Zoomで行	- った16回同期会と17回のご案内本	田	壮	 20
オンライ	ン同窓会を開催山	田	博	胤21
俳	句小谷雄二・雫 俊一・駒木幹正・真	鍋	正	広22
○徳島大学の真	動き			
徳島大学の	の動向について	置	俊	晃23
定年退職	教授挨拶大	森	哲	郎28
	丹	黒		章28
徳島大学	病院教授紹介池	本	哲	也29
OMD-PhD⊐-	- ス同窓会報告	野	広	和30
○青藍会の動	de la companya de la			
青藍会出,	身教授一覧			31
青藍会出,	身教授就任挨拶	本	康	裕32

	医学音	ß67期	月卒業 生	主 (令和	13年	3月2	卒業)	• • •	• • • • • •		• • • • •	• • • • •	• • • • • •	• • • • • •	• • • • •	• • • • • • •		• • • • • •	• • • • • •	• • • • • • •	33
	会 員	Ø :	異動:	• • • •		• • • • • • •					• • • • • • • •		• • • • •						• • • • • •	• • • • •		34
	物	故	者·	• • • •		• • • • • • •					• • • • • • • •		• • • • •						• • • • • •	• • • • •		35
	青藍会	会費	謝入 北	犬況	<u>.</u>								• • • • •						• • • • • •			36
	会費網	内入の	お願い	, .		• • • • • • •					• • • • • • • •		• • • • •						• • • • • •	• • • • •		37
	事務局	うから	のお原	類い	٠٠٠٠٠								• • • • •						• • • • • •			38
○找	え 稿	規	定	• • • •		• • • • • • •					• • • • • • • •		• • • • •						• • • • • •	• • • • •		39
○第	第38回青	青藍 会	・医	学科	講演	会開	催の	お知ら	うせ				• • • • •						• • • • • •			40
○絹	集	後	記														広報	田	中	克	哉	41

新入生歓迎会の開催中止について

令和3年4月6日,徳島大学が新型コロナウイルスの感染拡大防止のため,令和3年度徳島大学入学式の式典を代表者のみで挙行されたことにより,青藍会主催の新入生歓迎会の開催は中止いたしました。新入生にはご入学を祝して,荒瀬誠治会長からのお祝いメッセージを添えて,青藍会だより・会報第96号をお贈りいたしましたので,ご報告申し上げます。

青藍会の助成活動

医学科支援について

この度は、医学科学生への教育支援助成をいただき、厚く御礼を申し上げます。

COVID-19感染拡大をうけ、「従来の大講義室で の授業はオンライン、実習は対面で実施」の方針で 進めておりますが、令和2年8月の徳島県内での流 行拡大によって、9月初めからの2年次系統解剖学 実習がご遺体を用いた対面で実施できない事態に直 面しました。そこで、青藍会からのご支援を3Dア トラス「ヒューマン・アナトミー・アトラス (Visible Body 社)」のアプリ購入に使用させていただき、9 月3日~28日の1か月間. Microsoft Teams によ るオンライン解剖学実習に活用しました。教員は「解 剖実習の手びき」に記載されている観察対象の血 管・末梢神経・骨・筋・各器官系等をヒューマン・ アナトミー・アトラス上で指し示しながら解説を行 い、学生は自分のタブレット端末にインストールし た同アトラスで同対象物を観察しながら、教員との 質疑応答を行いました。学生の理解度は毎回のオン ライン実習でのレポート課題で確認しました。冨田 江一教授(機能解剖学分野)からは、「10月半ばか らご遺体による解剖学実習を対面で開始したが、半 分以上の内容をオンライン実習で事前学習していた

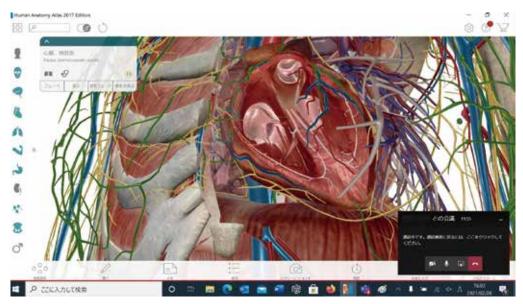
徳島大学医学部長

赤 池 雅 史(医学部31期)

ため、学生は例年に比べて短期間で、人体についてより高いレベルまで学習・理解できており、ヒューマン・アナトミー・アトラスを用いたオンライン解剖学実習は非常に効果的である」とのコメントをいただいています。

また、引き続き、竹田晴一先生(医学部27期)からのご寄附とともに、臨床実習用白衣購入に使用させていただきました。青藍会からのご支援により昨年度に整備が完了した臨床実習学生用学習室については、一部の臨床実習が対面で実施できずオンラインに変更されるなか、学生の自主的学習に活用しました。この結果、前回の第115回医師国家試験は新卒合格率が98.1%と好成績で、これは記録が確認できた昭和53年度以降最高でした。

青藍会からは、これらの他に、3年次の医学研究 実習ポスター発表や6年次の診療参加型臨床実習後 OSCE (客観的臨床技能試験)の成績優秀者表彰等、 医学科学生教育に多くのご支援をいただいています。 医学科としては、COVID-19を乗り越え、これから も優れた医師の育成に努力する所存です。これから もご支援・ご指導のほど、どうかよろしくお願いい たします。



「ヒューマン・アナトミー・アトラス」を用いたオンライン解剖学実習の画面の例

青藍会奨励賞の授与(令和2年度臨床実習後OSCE成績優秀者表彰)

令和2年度臨床実習後OSCE成績優秀者10名に青藍会奨励賞を授与しました。

青藍会奨励賞を受賞して

窪 田 沢(医学科6年)

この度は青藍会奨励賞をいただき, ありがとうございます。

地元に戻って1ヶ月,既に徳島の空気や音や人が 恋しくなっているところです。

初期研修は不安もありますが、徳島大学での学びを礎として、少しずつ進んでいこうと思います。

草 壁 優(医学科6年)

この度は、輝かしい賞を頂戴し光栄に思います。 私がこのような喜びを得ることができましたのは、 よき先生方のご指導とよき友人に恵まれたおかげで す。今後も臨床経験を積みながら世界に羽ばたく人 材になれるよう精進して参ります。

山 中 佐 織(医学科6年)

この度の受賞,誠にありがとうございました。これから始まる研修医生活において,大学における実習で培った診察方法等をもとに,臨床実習の習得と医療知識の向上に努めて参ります。

小島有紗(医学科6年)

この度は青藍会奨励賞という名誉ある賞をいただき,誠に光栄に存じます。臨床実習では先生方にご指導いただき,得るところの多い経験となりました。感謝の念を忘れず.これからも精進して参ります。



今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度医学部各賞授与式にて赤池雅史医学部長より 当日出席された5名の受賞者に授与し、他5名には郵送いたしました。

徳島大学病院卒後臨床研修センターの活動報告

卒後臨床研修センター長 安 倍 正 博(医学部30期)

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の対応 に振り回され、教育講座やセミナーをオンライン形 式で開催したり、また県を跨ぐ移動に伴う自宅待機 などにより各研修医が研修終了要件を満たすために 例年と全く異なる対応が必要でしたが、 多くの病院 や施設のご理解とご配慮のお陰で、令和元年度徳島 大学病院基幹型臨床研修プログラム研修医22名の研 修終了が、令和3年3月3日徳島大学病院医師卒後 臨床研修管理委員会にて認定されました。お世話に なりました多くの先生方にはこの場を借りて. 感謝 と共に厚くお礼を申し上げます。研修管理委員会は 新型コロナウイルス対策のため Web 形式にて開催 しましたが、修了認定を受けた研修医からオンライ ンで、お世話になった研修病院の指導医の先生方へ エピソードと共にお礼と感謝が述べられておりまし た。この4月からは、修了者のうち16名が徳島大学 病院の各診療科で、また残りの6名は県外の病院で 専門医研修プログラムの専攻医として専門研修を開 始しました。

また. 広報活動や学生の病院見学も制限されたた め、研修プログラムの紹介動画を HP 等に掲載した り、学生との面談をオンラインで行い、令和3年度 は新しい研修医を12名迎えました。県立中央病院と の融合研修を取り入れた「メディカルゾーン重点研 修プログラム」(定員3名)にも、3名が希望し参 画してくれました。2年目の研修医は18名で、現在 計30名の研修医が当院のプログラムで研修しており ます。今年は徳島県全体の研修医数が特に少なかっ たことから, 徳島県臨床研修連絡協議会において, 県内の全ての臨床研修病院が医師育成という目標を 共有し、お互いが協力し、研修医の先生方が将来最 もご活躍できる希望の進路につながるよう、卒前の 臨床実習から卒後臨床研修,専門医研修へと連携の とれた体制をより強固にし、この春より HP などで 徳島での研修の魅力や支援体制を県内外の学生に積 極的に紹介しております。

卒後臨床研修の大きな変更点の一つとして、令和2年度から到達目標の達成度評価は、国立大学病院長会議が開発したEPOC2(オンライン臨床教育評価システム)を用い、医師及び医師以外の医療従事者が研修医に対して形成的評価を行うことになっております。研修医が次の診療科や協力病院にローテーションするまでに評価者がEPOC2の入力を済ます必要がありますので、関係の先生方におかれましては速やかなご対応を重ねてお願い申し上げます。

コロナ禍がまだまだ続きそうですが、知恵を絞り、 柔軟に対応したいと思います。今後とも皆様方には 卒後臨床研修に対するご理解と共にご指導・ご支援 を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



オンラインでの研修風景

青藍会賞募集

2021年度青藍会賞募集

2021年度青藍会賞を下記のとおり募集します。

本賞は青藍会会員による学術研究の発展と奨励のために、若手研究者の優れた業績に対して授与するものです。奮ってご応募下さい。

1. 応募資格

2021年12月末現在で42才未満の青藍会正会員 但し、2021年度までの会費完納入者であること。

2. 審 査 対 象

2017年1月から2021年12月までの研究業績を対象とします。 なお、選考では徳島大学で主として行われた研究であることを重視します。

3. 応 募 締 切

2022年1月24日(月)(応募締切り後は提出書類の変更を認めません)

4. 応募 手続

以下の書類を青藍会事務局へ提出して下さい。(原本とコピー各10部をご用意下さい)

- 1. 申請書(別紙様式1)
- 2. 履歴書(略歴)(別紙様式2)
- 3. 主指導者の推薦状(別紙様式3)
- 4. 原著論文(2017年1月~2021年12月末に発刊された原著論文;通し番号をつけ、 年代の近い順に記載し、主たる論文3編には通し番号に○をつけること。主たる 論文は筆頭著者の論文に限定しない。応募者には下線をひくこと。)(別紙様式4)
- 5. 主たる論文3編の要旨(各400字程度)(別紙様式5)
- 6. 主たる論文3編の別刷り(コピー可)
- 7. 競争的資金の獲得状況(2017年1月~2021年12月末までに獲得した研究費の名称,研究期間,研究題目,直接経費の研究費総額。研究代表者の資金に限る。)(2021年12月末時点で採択が決定したものも含む)(別紙様式6)
- 8. 今後の研究の展望(800字程度)(別紙様式7)

なお、同一推薦人が複数者を推薦する場合は推薦順位をつけること。

申請書等の各様式は青藍会事務局(seiran@tokushima-u.ac.jp)にご請求下さい。

5. 選 考

青藍会会長から委嘱された選考委員会が行います。

6. 受 賞 者 数

原則一名

7. 青藍会賞の授与

賞状及び研究助成金100万円の目録を青藍会総会開催日に授与します。 研究助成金は受賞者あてで教室への委任経理金(奨学寄附金)とします。

8. 受 賞 講 演

青藍会総会開催日当日、受賞講演を行っていただきます。(30分程度)

お問合せ先 青藍会事務局 TEL 088-633-7109 (内線2601) seiran@tokushima-u.ac.jp

徳島大学の動き

徳島大学の動向について

毎月の動きを青藍会 HP に掲載していますので是非ご覧下さい。

玉 置 俊 晃 (医学部23期)

<令和3年3月>

【人事関係】

1) 2021年3月8日

「大学院医歯薬学研究部医学域医科学部門内 科系(小児科学分野)教員(教授)」の公募が令和3年5月17日まで延長されました。

2) 2021年3月18日

「大学院医歯薬学研究部医学域医科学部門 社会医学系 公衆衛生学分野 教員(助教)」の採用情報が掲載されました(令和3年3月31日まで)。

【教育関係】

1) 2021年3月8日

令和3年度入学式の内容が公表されました。

- ■日 時:令和3年4月6日(火)10時00分から
- ■対象者:令和3年度入学者

ただし、式典は代表者のみの出席により挙行し ます。

■インターネット配信:詳細は後日ご案内いたします。

■連絡事項

- ・記念撮影用の立看板を, 常三島キャンパス及び 蔵本キャンパスに設置する予定です。
- ・今後状況の変化に応じて変更する場合は, 改めてお知らせいたします。
- 2) 2021年3月12日 高等教育の修学支援新制度に ついて内容が更新されました。

令和2年度より、大学等における修学の支援 に関する法律に基づき、留学生を除く学部学生 を対象とした授業料・入学料の減免や、日本学 生支援機構による給付型奨学金の拡充が実施さ れます。

本学は、高等教育の修学支援新制度の対象機 関として文部科学省より認定されました。

3) 2021年3月16日 第115回医師国家試験の合格発表 3月16日に厚生労働省が発表した第115回医 師国家試験の合格状況では, 徳島大学の合格率は, 新卒98.1%(16位/80校中), 総数93.8%(34位/80校中)でした。

4) 2021年3月17日 令和3年度医学部新入生オリエンテーションについて

令和3年度入学生のための,新入生オリエンテーションが令和3年4月1日(木)から実施される予定です。

5) 2021年3月17日 令和2年度徳島大学卒業式・修 了式及び医学部各賞授与式等について(お知らせ) 令和2年度徳島大学卒業式・修了式

■日 時:令和3年3月23日(火)10時00分から

■会場:ときわホール(アスティとくしま2階)

〈医学部, 医科学教育部・栄養生命科学教育部・保 健科学教育部の場合〉

卒業証書受領:医学部医学科1名

学 位 記 受 領:栄養生命科学教育部博士後期課程

1名 3名のみ出席

在学生総代送辞:医学部医科栄養学科1名

医学部各賞授与式では、青藍会から医学科6年次 臨床実習後OSCE優秀者10名に青藍会奨励賞を授与 しました。新型コロナウイルス感染症の関係で今回 は、医学部各賞授与式に出席された5名に赤池雅史 医学部長より直接記念品の贈呈が行われました。

【研究関係】

1) 2021年3月16日 簡便·迅速な新型コロナウイルス検出法を開発。

最先端の光技術と診断プローブ技術を融合することにより、SARS-CoV-2の簡便・迅速検出が可能な技術を開発し、その成果の一部を第68回応用物理学会春季学術講演会(2021年3月16~19日オンライン開催)にて発表しました。

2) 2021年3月25日 第262回徳島医学会学術集会 (令和2年度冬期)第46回徳島医学会賞および第 25回若手奨励賞 受賞者発表

※※ 徳島大学の動き ※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※ ※※ 徳島大学の動き

<第46回徳島医学会賞受賞者(2名)>

A-9 徳島大学 消化器・移植外科 齋藤裕 (さいとうゆう) (医学部53期)

ヒト脂肪由来間葉系幹細胞から肝細胞様細胞の創出 一肝不全・代謝性肝疾患に対する肝移植から細胞治 療へ一

A-8 医療法人平成博愛会 博愛記念病院 折野亜 衣 (おりのあい)

骨卒中みそ汁提供による25-OHビタミンD改善への取り組み。

<第25回若手奨励賞受賞者(2名)>

B-7 徳島県立中央病院医学教育センター 濱田哲 有(はまだてつゆう)

腸管子宮内膜症により腸閉塞・敗血症性ショックを きたし、経肛門的イレウス管での減圧後待機的手術 を行った一例

B-9 徳島大学病院卒後臨床研修センター 木村蘭子(きむららんこ)(医学部66期)

繰り返す脆弱性骨折を契機に発見されたクッシング 症候群の一例

【その他】

1) 2021年3月2日

令和3年3月1日(月)の徳島新聞に「アレルギー・がんテーマ 最新治療法」を紹介した徳島大でのフォーラムが掲載されました。主な報告者は、

徳島大学病院耳鼻咽喉科·頭頸部外科 北村嘉 章准教授(医学部43期)

徳島大学病院小児科 渡邉浩良診療科長(医学 部40期)

2) 2021年3月3日

令和3年3月7日(日)9時から第262回徳島 医学会学術集会の内容を医療関係者限定で生配 信いたします。

3) 2021年3月16日

令和3年3月16日(火)の毎日新聞「四国健康ナビ」に、徳島大学病院循環器内科 八木秀介特任准教授の研究「難病・心アミロイドーシス新しい治療」が紹介されました。

<令和3年2月>

【人事関係】

1) 2021年2月19日

「大学院医歯薬学研究部医学域医科学部門 社 会医学系(予防医学分野)教員(准教授、講師 または助教)」採用案内が掲載されました(令和3年3月30日まで)。

2) 2021年2月26日

大森哲郎教授の後任教授公募が延長されました。「大学院医歯薬学研究部医学域医科学部門 内科系(精神医学分野)教員(教授)」採用情報 を掲載(4月23日まで)。

【教育関係】

1)2021年2月8日

令和3年度徳島大学一般選抜志願状況(確定版)が徳島大学 HP に掲載されました。

【研究関係】

- 1) 2021年2月8日 令和2年度若手研究者学長表彰 脊椎関節機能再建外科学(整形外科)の特任 講師 和田佳三(順天堂大学出身)先生が,表 彰を受け「健常膝関節の動きを再現した人工膝 関節置換術の開発」について報告されました。
- 2) 2021年2月22日 徳島大学定例記者会見 二川健先生(大学院医歯薬学研究部生体栄養 学分野教授)(医学部33期)の参加する宇宙実験 について報告がありました。

【その他】

1) 2021年2月1日

「NHK プロフェッショナル仕事の流儀」に整 形外科・西良浩一医師が出演しました。

NHK 総合 1 · 徳島: 2021年 2 月 2 日 (火) 午後 10: 30~午後11: 15

2) 2021年2月9日

令和2年度康楽賞の贈与がありましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、贈与式は開催中止となりました。青藍会会員および準会員の受賞者は、以下の先生方です。

【教員の部】

大学院医歯薬学研究部 運動機能外科学分野

准教授 浜田大輔先生(医学部46期)

病院 輸血・細胞治療部

講師 三木浩和先生(医学部47期)

病院 消化器・移植外科

講師 吉川幸造先生(医学部47期)

【学生の部】学術研究関係

医学部医学科6年 髙原由実子さん

【学生の部】奨学生関係

医学部医学科6年 濵田有理さん

3) 「新しいアレルギー性鼻炎の治療法」が2021年2 月16日 (火) の毎日新聞に掲載されました。徳 島大学病院耳鼻咽喉科·頭頸部外科 北村嘉章 准教授(医学部43期)

4) 2021年2月16日 がん治療の取り組みについて 徳島大学病院でフォーラムが開催されました。

徳島大学病院 消化器内科 藤野泰輝医師 (医学部54期), 徳島大学病院 整形外科 土岐 俊一医師 等医師や看護師7人が講演。

3月21日付の徳島新聞特集面で詳細が掲載されます。

<令和3年1月>

【人事関係】

1) 2021年1月6日 「大学院医歯薬学研究部医学域 医科学部門 外科系(胸部・内分泌・腫瘍外科 学分野)教員(教授)」採用情報を掲載(令和3 年3月20日まで)

丹黒章教授の定年退職に伴う後任教授採用募 集が始まりました。

【教育関係】

1)2021年1月18日 令和3年度徳島大学一般選抜追試験について

徳島大学では、一般選抜(前期日程・後期日程)を欠席した受験生を対象に追試験を設けます。

- 2) 2021年1月20日 令和3年度入学式のお知らせ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、 入学生及びご家族の皆様の健康・安全の確保を 最優先とし、式典は代表者のみで挙行します。 代表者以外の入学生及びご家族の皆様のために、 式典の様子をインターネットで配信いたします。
- ■日 時:令和3年4月6日(火)10時00分から
- ■対象者:令和3年度入学者

ただし、式典は代表者のみの出席により 挙行します。

3) 2021年1月20日 令和2年度卒業式・修了式の お知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、 卒業生・修了生及びご家族の皆さまの健康・安 全の確保を最優先とし、式典は代表者のみで挙 行します。また、代表者以外の卒業生・修了生 及びご家族の皆さまのために、式典の様子をイ ンターネットで配信いたします。

■日 時:令和3年3月23日(火)10時00分から

■対象者:令和2年度卒業者及び修了者

ただし、式典は代表者のみの出席により

挙行します。

4) 2021年1月19日

【受験生の皆様へ】『徳島大学医学部医学科 WEB オープンキャンパス2020 在学生による座談会』の動 画を掲載しました(2021年2月18日(木)まで配信)。 【研究関係】

1) 2021年1月26日

ビタミン D は心不全入院後の死亡率低下に関連 徳島大学循環器内科の楠瀬賢也講師,佐田政隆教授らの研究グループは,日本最大の循環器データベースである循環器疾患診療実態調査 (JROAD-DPC)を用い,ビタミン D 製剤内服と心不全入院後の死亡率低下との関係を報告しました。近年,COVID-19でもその有効性が示唆されているビタミン D ですが,心不全の死亡率改善に役立つ可能性があります。この研究成果は1月23日付けで「Nutrients」に掲載されました。

2) 2021年1月28日

磯村祐太医員(医学部64期)が第64回日本呼吸器学会中国・四国地方会後期研修医セッション優秀演題賞を受賞しました。

3) 2021年1月28日

國重道大医員が第71回日本結核・非結核性抗 酸菌症学会中国四国支部会 優秀発表賞を受賞 しました。

【その他】

1) 2021年1月19日

全学同窓会「第2回びざん会」をオンライン で開催しました。

青藍会からは荒瀬誠治会長(20期)含め10名が参加しました。

2) 2021年1月21日

徳島県てんかん地域診療体制整備事業市民公 開講座「学校や職場も知って欲しいてんかんの こと」を開催しました。新型コロナウイルス感 染症の状況を鑑みて、事前収録したものをケー ブルテレビで放映します。

<令和2年12月>

【人事関係】

1) 2020年12月1日

「大学院医歯薬学研究部医学域医科学部門 内科系(精神医学分野)教員(教授)」採用案内 を掲載(令和3年1月29日まで)。

大森哲郎教授の定年退職に伴う後任教授採用

※※ 徳島大学の動き ※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※ ※※ 徳島大学の動き

募集が始まりました。

2) 2020年12月16日 徳島大学医学部長の選考について

赤池雅史(大学院医歯薬学研究部教授)(医学 部31期)が医学部長に再任されました。任期は、 令和3年4月1日から令和5年3月31日です。

3) 2020年12月22日

香美祥二教授の定年退職に伴う「大学院医歯薬学研究部医学域医科学部門内科系(小児科学分野)教員(教授)」の後任教授公募が,令和3年3月1日まで延長されました。

【教育関係】

1) 2020年12月3日 徳島大学はフードバンクを開 設しました。

新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えず、第3波の到来が日増しにはっきりしてきました。こうした中で、徳島大学は、アルバイトなどの収入が激減し、生活に困窮している学生を支援するため、本学独自の「徳島大学フードバンク」を開設しました。

2) 2021(令和3)年度 総合型選抜の第2次選考 通過者(医学部医学科)が,令和2年12月11日 (金)16時に発表されました。

この選抜は、四国定着研究医型と呼ばれるもので、徳島大学大学院の進学と徳島大学病院又は徳島大学病院が指定する主要基幹病院においての初期研修を出願要件にしています。四国 4 県からそれぞれ 2 名を目安に募集する予定です。尚、大学入学共通テストの成績を加味して最終判定がおこなわれます。

3) 第67回徳島大学解剖体慰霊祭の開催

徳島大学医学部及び歯学部では、学生の解剖 学実習に御献体いただいた方々の御遺族をお招 きして、第67回徳島大学解剖体慰霊祭を令和2 年12月18日に徳島大学大塚講堂にて執り行いま した。

4) 2020年12月23日 令和2年度卒業式・修了式のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、卒業生・修了生及びご家族の皆さまの健康・安全の確保を最優先とし、式典は令和3年3月23日(火)10時00分から代表者のみで挙行します。また、代表者以外の卒業生・修了生及びご家族の皆さまのために、式典の様子をインターネットで配信いたします。

【研究関係】

- 1) 令和2年10月30日 南城和正(徳島大学病院呼吸器外科・医員)(医学部64期)が,第95回中国四国外科学会総会・第25回中国四国内視鏡外科研究会 研修医・専攻医セッション7 優秀演題賞を受賞しました。
- 2) 2020年12月17日

若手研究者学長表彰制度による学長表彰式を 挙行しました。

医学域での表彰を受けられた研究者の方々 和田佳三特任講師(大学院医歯薬学研究部・ 医学域)

上番增喬特任助教 (大学院医歯薬学研究部・ 医学域)。

3) 2020年12月25日

竹内麻由美(徳島大学病院放射線科・講師) (医学部45期)が、RSNA2020第106回北米放射 線学会議 Certificate of Merit award を受賞しま した。

<令和2年11月>

【人事関係】

- 1)「大学院医歯薬学研究部医科学部門小児科学分野(教授)」の公募が令和2年11月30日まで延長されました。
- 2) 令和2年11月1日に,池本哲也先生(44期,消 化器・移植外科)が,徳島大学病院 安全管理部 特任教授に就任しました。
- 3) 令和3年度研修医募集 (二次募集) 【受付期間11 月20日(金) 17時まで】

【教育関係】

- 1) 第115回医師国家試験願書受付が11月2日に始まりました。試験日は、令和3年2月6、7日です。
- 2) 2020年11月7~16日 徳島大学修学支援事業基金による寄宿料補助金の支給について:自宅以外の家賃を支払っている住居から通学している学生のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮している学生に対して、社会の皆様からいただいたご寄附を原資とし、本学独自の徳島大学修学支援事業基金による寄宿料補助金を支給するための申請を受け付けました。
- 3) 令和2年11月28日に,総合型選抜入試「四国定 着研究医型」が行われました。

四国各県から2名づつ、計8名を受け入れる

予定。将来, 徳島大学大学院医科学教育部において大学院進学と徳島大学病院または徳島大学が指定する主要基幹病院で2年間の初期臨床研修を確約した学生を対象としています。

【研究関係】

1) 令和2年10月28日に,本学教員が徳島県「県科学技術大賞」表彰式で表彰されました。

本学から下記の2部門に4名が表彰されました。

若手研究者部門

· 大学院医歯薬学研究部

特任講師 和田佳三

科学技術振興部門

· 大学院医歯薬学研究部

特任教授 岡久稔也 (医学部33期)

· 大学院医歯薬学研究部

講師 奥村仙示

· 先端酵素学研究所

特任准教授 沢津橋俊

2) 令和2年11月10日

徳島大学は大鵬薬品工業株式会社と基礎研究 に関する協定書について、期間延長のため、覚 書を締結し、調印式を行いました。

大鵬薬品工業株式会社と本学は、平成16年度に「国立大学法人徳島大学と大鵬薬品工業株式会社との包括的研究連携に関する協定」を締結。また、平成26年度には、「国立大学法人徳島大学と大鵬薬品工業株式会社との基礎研究に関する協定」を締結し、同社の支援により、がん関連分野の先進的基礎研究拠点の構築と研究振興を目指して活動を進めてきましたが、来年3月31日で協定の満了を迎えることから、引き続き連携研究活動を実施することを目的として3年延長の覚書を締結しました。

3) 令和2年11月17日

徳島大学病院循環器内科の楠瀬賢也講師,佐田政隆教授らの研究グループは,帝京大学大学院医療技術学研究科診療放射線学専攻の古徳純一教授らとの共同研究において,胸部単純 X 線画像から肺高血圧症を検知し,予後を推定する人工知能(AI)を開発しました。

【行事関係】

- 1) 2020年11月2日に、全学同窓会「びざん会」を オンラインで開催しました。
- 2) 徳島大学公開シンポジウム「SDGs の達成に向

けて」が、令和 2 年11月14日 (土) に長井記念 ホール (徳島大学蔵本キャンパス) で開催され ました。

西良浩一(徳島大学大学院医歯薬学研究部・ 医学域教授:医学部34期)先生が「一腰痛治療 への挑戦:内視鏡手術で健康寿命増進一」と題 して講演しました。

- 3) 徳島大学大学院市民公開講座「がん治療の最前 線照会」が、令和2年11月24日に開催されまし た。
- 4)「徳島大学 オンライン大学祭」(11月28日)が 開催されました。

【その他】

- 1) 令和 2 年11月 4 日に秋の叙勲の受章が決定しま した。
 - ○瑞宝中綬章

香川 征 (医学部15期)

元徳島大学長, 元徳島大学医学部・歯学部附 属病院長, 徳島大学名誉教授

教育研究功労

○瑞宝単光章

水口 靖美

元徳島大学歯学部附属病院看護部長

看護業務功労

2) 令和2年11月24日 徳島大学記者会見

医学科6年大西将統君が、2020年8月に開催されたeスポーツ世界大会(コナミ主催「e Football Open, 2020」)で優勝して学長表彰を受けたことが報告されました。尚、大西将統君はeスポーツの世界ではプロ契約して、プロとして活動しているようです。

徳島大学大学院医歯薬学研究部定年退任教授挨拶

定年退職挨拶

精神医学分野

令和2年3月をもちまして精神医学分野の教授を 定年退職いたしました。北海道から赴任してきたの は平成11年3月でしたので、ちょうど22年間在職い たしました。この間には、大学の独立行政法人化、 初期臨床研修必修化、機構専門医制度の導入などの 大きな出来事もありました。思い返すと力不足のと ころもありましたが、ともあれ無事に職責を果たす ことができたのは、みなさまのご支援のおかげでし た。診療でも研究でも多くの分野の先生方のご指導 ご援助をいただきました。心から御礼申し上げます。 「学ぶとは心に誠を刻むこと、教えるとはともに希 望を語ること」というルイ・アラゴンの名句がございます。蔵本キャンパスのみなさまと、ともに希望を語ることができたのは、たいへん幸せでした。嬉しいことに、在職中には89名の若者が入局し、徳島大学および関連病院で経験を積み、いまでは大学精神科の教育・研究を担い、地域精神科医療を支えています。私自身も退職後はひとりの臨床医として地域医療に携わる所存です。徳島大学医学部の発展と青藍会のみなさまのますますの活躍を心から祈っております。

大 森 哲 郎

教授退任にあたって「お礼の言葉」

平成16年12月1日の赴任以来,青藍会の諸先生方に助けられながら16年4か月があっという間に過ぎ、退任を迎えることになりました。教室運営に多少余裕ができた後は,医学科長,副病院長,医学部長も務めさせていただき,病院長代理,医学部長として広島支部,東京支部,兵庫支部,北海道支部にもお招きいただきました。現在も同級生3人が青藍会支部長として頑張っており,東京支部の竹田晴一先生には青藍会を介してStudent Doctorの称号授与式に寄贈する白衣へのご支援も続けて賜っており,心から感謝いたします。

わが教室は昭和29年11月に初代 高橋喜久夫教授 によって開講され,第2代 井上權治教授時代に根 をはり,様々な領域へ分枝する幹が創られ,第3 胸部·内分泌·腫瘍外科学教授 丹 黒 章 (医学部27期)

代の門田康正先生のもと開花しました。第4代目である私は、赴任時の教室名「病態制御外科」を「胸部・内分泌・腫瘍外科」と改め、英語名も専門の Esophagus をもじって Department of Thoracic、Endocrine Surgery and Oncology としました。診療科としては呼吸器外科と食道・乳腺・甲状腺外科を標榜し、「後生可畏」をモットーに、無尽蔵の可能性を持つ若人に夢を語り、日夜研鑽して"離見"ができる"未見のわれ"に出会って欲しいと願い、励声叱咤して参りました。彼らが今後、何をしでかしてくれるのか楽しみにしています。今後も5代目となる新たな主宰者と教室へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

徳島大学病院新任教授紹介



徳島大学病院安全管理部特任教授 池本哲也(いけもと てつや) 昭和46年6月16日生

略歴

平成10年3月 徳島大学医学部医学科卒業

平成10年6月 徳島大学医学部附属病院 医員(旧第一外科研修医)

平成11年4月 愛媛県立中央病院 医員(外科研修医)

平成12年4月 兵庫県立淡路病院(外科医員)

平成13年8月 徳島県立三好病院(外科医師)

平成15年8月 徳島大学医学部附属病院 第一外科 医員

平成18年11月 徳島大学病院 消化器·移植外科 診療助手

平成19年8月 University of Alberta, Edmonton (AB, Canada), Post doctoral fellow

平成19年12月 Baylor Medical University, Dallas (TX, USA), Senior fellow

平成21年4月 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部

消化器·移植外科学 助教

平成28年7月 徳島大学病院 消化器·移植外科 講師

平成28年10月 徳島大学病院 安全管理部 特任准教授

令和2年11月 徳島大学病院 安全管理部 特任教授

(現在に至る)

就任のご挨拶

徳島大学病院安全管理部部長

特任教授 池 本 哲 也 (医学部44期)

令和2年11月1日付けで徳島大学病院安全管理部の特任教授を拝命いたしました。私は平成10年に本学卒業後、旧第一外科に入局し、愛媛県立中央病院、兵庫県立淡路病院などで外科を研鑽し、学位取得後カナダおよびアメリカへ留学し膵島移植を学んで帰学致しました。その後は肝胆膵外科を専門として消化器・移植外科島田光生教授の下で診療・研究・教育に邁進して参りましたが、医療安全の喫緊の課題を外科医として日々痛感しておりました。徳島大学病院加藤真介安全管理部長とのご縁から、平成28年より安全管理部のメンバーに加えて頂き、令和3年4月からは徳島大学病院安全管理部長も拝命致しました。医療安全管理は社会や厚生労働省からの要請もあり大きな課題をいくつも抱えております。今後、徳島大学・外科で培ってきた臨床医としての感覚や視点から発信する医療安全意識を通じ、徳島大学病院および日本の患者医療安全に全力で取り組んで参りますので、変わらずご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。末筆ではございますが、青藍会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

MD-PhDコース同窓会報告

徳島大学MD-PhDコース魅力発信セミナー/第6回近況報告会および会長交代に関してのご報告

荻野広和(医学部56期)

医学部56期, MD-PhD コース 3 期生で現在徳島 大学大学院医歯薬学研究部呼吸器・膠原病内科に所 属しております荻野広和と申します。青藍会の皆様 方には平素より本コースの発展のためご支援いただ いておりますこと, この場をお借りし心より御礼申 し上げます。さて本年も2月13日(土)に徳島大学 MD-PhD コース魅力発信セミナー/第6回近況報告 会を開催致しましたのでご報告申し上げます。

本年は新型コロナウイルス蔓延の影響もあり、初めてZoomを用いたオンライン形式での開催としました。MD-PhDコース同窓生のみならず学内外より幅広く参加者を募った結果、34名(うち同窓生10名)の参加者を得ました。また昨年度の本会にて特別講演をいただいた千葉大学 MD-PhDコース1期生で現在ハーバード大学にて研究室を主宰しておられる髙橋恵美先生にもアドバイザーとしてご参加いただきました。

会の冒頭ではまず徳島大学大学院医歯薬学研究部薬理学分野 石澤有紀先生より、徳島大学および他大学における MD-PhD コースの現況についての説明がありました。続いて特別講演として荻野が留学先の米国サンフランシスコより「コロナに翻弄された米国留学体験談」と題した講演をさせていただきました。私は呼吸器・膠原病内科学分野西岡安彦先生のご高配にて2019年5月より本年3月までの約2年間、カリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF)に研究留学をさせていただいておりました。講演会では前半に留学を志した理由、実際に留学するに至るまでの経過、UCSFでの研究内容などの他、米国留学を経て感じた留学の意義、日米での研究体制の違いなど、今後留学を志す人にとって少しでも参考になる

内容を意識しお話しをさせていただきました。後半は 米国におけるコロナ禍での生活や研究体制について 自身・家族の体験談を含めお話しをさせていただきま した。オンライン形式ということで、聴衆の反応が全 く感じ取れない状況での講演であり、皆さんの求める 内容となっているか不安を抱えながらの発表となり ましたが、後のアンケート結果をみると概ね好評だっ たようで安堵しております。最後に同窓生一人一人よ り近況報告をしていただき閉会としました。

オンライン開催の利点としては、高橋先生や私が 米国から参加できたように同窓生がアクセスしやす いことが挙げられ、来年以降はコロナの状況にもよ りますがハイブリッド形式での開催も考慮すべきか と考えております。

その後、同窓生のみで同窓会総会を開催し、今年度4年ぶりとなる本コースへの進学者がいるという大変嬉しい報告がありました。最後に髙橋先生に引き続き本コースのアドバイザーとしてご支援いただくこと、また石澤先生より荻野が会長職を引き継ぎ、副会長に東京都立神経病院川添僚也先生(55期生)、会計石澤先生(54期生)の3名が中心となり今後の同窓会運営を行うことの了承を得、閉会となりました。

今後至らないところもあるかと思いますが、本会の発展のため、ひいては青藍会発展のため尽力する所存でございますので、今後も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、本会開催にあたりご支援いただきましたAWAサポートセンター、医学部教育支援センター、高等教育研究センターアドミッション部門の皆様に心より御礼申し上げます。



MD-PhD総会写真

青藍会の動き

青藍会出身教授一覧

(令和3年4月1日現在)

-	_	IT.→	1 100 2		l er 7:	JT.≻÷	1	1 32 7	(17413年4月1日死年)
氏	名	期	大学名	講座	氏 名	期	٧١.	大学名	講座
田村	禎通	17	徳島文理大学		篠原 勉	34	徳	島 大 学	地域呼吸器総合内科学
木内	淳子	18	滋慶医療科学大学院大学		田中 克浩	34	_	崎医科大学	乳腺甲状腺外科
泉	啓介	19	徳島文理大学		髙橋 章	35	徳	島 大 学	予防環境栄養学
横関	博雄	26	東京医科歯科大学	皮 膚 科 学	松田 純子	35	Ш	崎医科大学	病 態 代 謝 学
東 荀	放次郎	26	徳島文理大学	看 護 学 科	相澤 徹	35	環	太平洋大学	体 育 学 部
高瀬	憲作	26	大阪物療大学	保 健 医 療 学 部	堀井 新	35	新	潟 大 学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
斧	康雄	27	帝 京 大 学	微生物学	篠原 尚	35	兵	庫医科大学	上部消化管外科
峠	哲男	27	香 川 大 学	健 康 科 学	早渕 康信	35	徳	島 大 学	地域小児科診療部
川上	照彦	27	吉備国際大学	理学療法学科	安友 康二	36	徳	島大学	生体防御医学
鶴尾	吉宏	28	徳 島 大 学	顕 微 解 剖 学	矢野 聖二	36	金	沢 大 学	腫瘍内科/腫瘍外科
下泉	秀夫	28	国際医療福祉大学	医療福祉	井原 義人	36	和哥	次山県立医科大学	生 化 学
金山	博臣	28	徳 島 大 学	泌 尿 器 科 学	田中 克哉	36	徳	島 大 学	麻酔・疼痛治療医学
重光	修	28	大 分 大 学	救 急 医 学	岩田 貴	36	徳	島 大 学	医療系基盤教育
糟谷	英俊	28	東京女子医科大学	脳 神 経 外 科	松崎 健司	36	徳	島文理大学	診療放射線学科
谷	憲治	28	徳 島 大 学	総 合 診 療 部	住谷さつき	36	徳	島 大 学	特 別 修 学 支 援
上田	夏生	29	香 川 大 学	生 化 学	上原 久典	36	徳	島 大 学	病 理 部
橋本	雅章	29	国際医療福祉大学	脳 神 経 外 科 学	岡本 康裕	36	鹿	児島大学	小 児 科 学
宇野	昌明	29	川崎医科大学	脳神経外科学	川人 伸次	37	徳	島 大 学	地域医療人材育成
江原	寛昭	29	滋賀大学	障害児教育	栗飯原賢一	37	徳	島 大 学	糖尿病・代謝疾患治療医学
伊藤	裕司	29	純真学園大学	医 療 工 学 科	小山 文彦	37	東	邦 大 学	産業精神保健・職場復帰支援センター
横越	浩	30	四 国 大 学	生 活 科 学 部	中村 教泰	38	山	口 大 学	器 官 解 剖 学
橋本	健志	30	神 戸 大 学	保健学研究科	遠藤 逸郎	38	徳	島大学	生体機能解析学
勢井	宏義	30	徳 島 大 学	統合生理学	添木 武	38	徳	島 大 学	実践地域診療・医科学
近藤	和也	30	徳 島 大 学	臨床腫瘍医療学	上村 浩一	38	兵	庫県立大学	保健医療福祉系
安井	敏之	30	徳 島 大 学	生殖補助·更年期医療学	友竹 正人	39	徳	島 大 学	メンタルヘルス支援学
森	健治	30	徳 島 大 学		桑原 知巳	39	香	川大学	分子微生物学
加藤	真介	30	徳 島 大 学		前川 洋一	39	岐	阜大学	寄生虫学・感染学
安倍	正博	30	徳 島 大 学	血液·内分泌代謝内科学	奥村 裕司	39	相	模女子大学	健康栄養学科
石堂	一巳	31	徳島文理大学		松浦 哲也	39	徳	島 大 学	脊椎関節機能再建外科学
上野	修一	31	愛 媛 大 学		井﨑ゆみ子	39	徳	島大学	キャンパスライフ健康支援センター保健管理部門
赤池	雅史	31	徳 島 大 学		大塚 秀樹	40	徳	島 大 学	画像医学・核医学
鈴江	毅	31	静岡大学		山田 博胤	40	徳	島 大 学	地域循環器内科学
三上	靖夫		京都府立医科大学	1		41	徳	島 大 学	臨床神経科学
原田	雅史	32	徳 島 大 学		若林 英樹	41	Ξ	重大学	家庭医療学
高橋	吉孝	32	岡山県立大学		大日 輝記	42	香	川大学	皮 膚 科 学
寶學	英隆	32	奈良先端科学技術大学院大学		居村 暁	-	徳	島 大 学	地域外科診療部
川人	宏次	32	自治医科大学		大藤純	43	徳	島 大 学	
吉栖	正典	33	奈良県立医科大学	+	堤 保夫	43	広	島 大 学	麻醉蘇生学
二川	健	33	徳 島 大 学		酒井 紀典	43	徳	島 大 学	地域運動器・スポーツ医学
岡久	稔也	33	徳島大学			43	徳	島 大 学	麻酔科診療部
浦上	淳	33	川崎医科大学		池田 康将	43	徳	島 大 学	薬 理 学
坂東	 良美	33	徳 島 大 学				徳	島 大 学	安全管理部
山口	文徳	33	愛媛県立医療技術大学		伊藤 弘道	_	-	門教育大学	特別支援教育
久保	宜明	34	徳 島 大 学		森岡 久尚		徳	島 大 学	公 衆 衛 生 学
西岡	安彦	34	徳島大学	+	岡田 賢	45	広	島 大 学	小 児 科 学
西良	浩一	34	徳島大学		吉川 幸造	47	徳	島 大 学	実践地域診療·医科学分野
橋本	一郎	34	徳島大学		岩佐武	-	-	島 大 学	
志馬	伸朗		広島大学			10	hG/	四 八 丁	
העיניםי	1.1.1.1	υī	四 八 丁	17.心水 1 旧	J				

青藍会出身教授就任挨拶



鹿児島大学医歯学総合研究科小児科学分野教授 岡本康裕(おかもと やすひろ) 昭和40年4月3日生 (医学部36期)

略歷

平成2年3月20日 徳島大学医学部医学科卒業

平成2年6月1日 徳島大学医学部附属病院小児科研修医

平成11年7月1日 St. Jude Children's Research Hospital (米国), Clinical Fellow

平成14年8月16日 徳島大学医学部附属病院小児科医員

平成17年6月1日 鹿児島大学病院助手

平成18年9月1日 鹿児島大学病院講師

平成27年4月1日 鹿児島大学准教授

令和3年4月1日 鹿児島大学教授

(現在に至る)

就任のご挨拶

鹿児島大学医歯学総合研究科

小児科学分野教授 岡 本 康 裕 (医学部36期)

令和3年4月1日付けで鹿児島大学医歯学総合研究科小児科学分野教授を拝命しました。

私は徳島県出身で、平成2年に徳島大学医学部を卒業後、徳島大学小児科に入局し、黒田泰弘教授の指導を受けました。高上洋一先生の影響で、小児血液・腫瘍を専門とし、お二人の推薦で、米国のSt. Jude Children's Research Hospitalでクリニカル・フェローとして研修を受けました。帰国後は、平成17年に鹿児島大学に異動し、河野嘉文教授の指導のもと、日本小児がん研究グループのALL(急性リンパ性白血病)委員会を中心とした臨床研究にたずさわり、その後は、アジアの小児がんグループとも共同研究をしています。

鹿児島大学小児科学教室の新しいキャッチフレーズは、For the Children, Society, and Ourselves としました。こどものために仕事をすることはもちろん、それを社会にしっかり返すこと、そして同時に私たちの生活・人生も実りのあるものにすることを目指したいと考えています。

青藍会の皆様には、今後もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

事務局からのお願い

◆ 個人情報の取り扱いについて ◆

平成17年から個人情報保護法が施行され、個人情報は厳重に取り扱うことが求められています。 青藍会事務局におきましても、会員の個人情報は慎重に管理し、取り扱いにつきましては、細心 の注意を払っております。従いまして、電話等での**会員情報の提供につきましては、原則お断 りをさせていただいております**。会員のプライバシー保護とトラブル防止のため、より一層の ご理解とご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

電子化の昨今ではございますが、会員名簿及び会報に掲載の「会員の異動」を大いにご活用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆ なりすましの二セ電話について ◆

「青藍会事務局の○○です。会費のことで・・・」という青藍会事務局事務員になりすましたニセ電話の事例が数件報告されております。過去には「青藍会の○○です。」「医学部第○期卒の○○です。」「徳島大学の○○です。」「○○病院の○○です。」という同窓生や「青藍会のお荷物のことで・・・。」という宅配便業者になりすましたニセ電話の報告もございました。電話の内容によりますと青藍会に関する情報に詳しい場合がございます。

青藍会事務局では、突然の電話による会費のご案内や個人情報の照会はいたしておりません ので十分お気をつけくださいますようお願い申し上げます。

勤務先及びご家族(帰省先)の皆様にも注意の呼びかけをお願いいたします。

青藍会事務局では電話によるご案内はいたしておりません。また電話による照会につきましてもお断りいたしております。

くれぐれもなりすましの二セ電話にはご注意ください!!

青藍会ホームページ「会員のページ」をご活用ください ―

青藍会ホームページには、青藍会会員に限っての会員専用ページ(非公開)【会員のページ】を設けております。

会員のページを閲覧するには、ユーザー名・パスワードを 入力の上、ログインしていただく必要があります。

会報末尾に綴じ込みの「FAX 用紙」に必要事項をご記入の上、 青藍会事務局まで申し込みをお願いいたします。



投稿規定

広報委員会

○ 原稿について

- ●必ず、文頭にタイトル、氏名・卒業期をご記載ください。例 タイトル ○ ○ □ 田 太 郎 (医学部○期)
- ●文字数は1,400字以内,写真は1枚でお願いいたします。 なお,写真には見出しあるいは説明文を必ずつけてください。
- ●英数字は半角文字で、カタカナは全角文字で入力してください。
- ●原稿の文中に登場する氏名及び敬称については、<u>スペースを入れずに記載</u>してください。 (例 山田太郎君 高倉健さん 松下幸之助先生)
- 原稿及び写真の送付について(青藍会事務局 seiran@tokushima-u.ac.jp)
- ●原稿送付は、可能な限りメール添付または電子媒体にてお送りください。 プリントされた写真については、郵送にてお送りください。後日、返送いたします。
- ●画像ファイルを送付される場合は、原稿とは別に、JPEG ファイル等でお送りください。 原稿(Word等)に貼り付けますと、画質が悪くなります。 なお、画像ファイルの容量が大き過ぎますと届かないことがございます。容量を小さくして 1枚ずつに分けてお送りください。また、青藍会事務局からの連絡がなかった場合は、届い ていないことが考えられますので、再度確認のご連絡をお願いいたします。
- 原稿の締め切り日を厳守願います(次号98号の締め切り日は10月1日(金)です)

会報の印刷および製本には、原稿をお預かりした後、ゲラ刷り作成、校正、修正、編集会議等で2ヶ月ほどの時間を必要といたします。

締め切り日より遅れた場合は、次号の掲載になりますので予めご了承ください。

○ 編集作業について

- ●お送りいただきました原稿は語句などに関して広報委員会で校閲させていただきます。その 結果、修正をお願いする場合もございますことをご了承おきください。
- ●用語や表記などの統一のために文章に手を入れることがございます。予めご了承ください。

○ 原稿校正について

- ●広報委員会で会報全頁のレイアウト等を校正後、製本前のゲラ刷りを作成しお送りさせていただきますので、著者校正をお願いいたします。
- ●校正時の大幅な追記,削除等は、会報発行期日に影響いたしますので、ご遠慮くださいますようよろしくお願い申し上げます。

第38回青藍会・医学科講演会開催のお知らせ

第38回青藍会・医学科講演会を開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。

日 時 令和3年10月21日(木)18時30分~20時

場 所 徳島大学藤井節郎記念ホール(蔵本キャンパス)※変更になる場合があります

座 長 西岡 安彦 先生徳島大学大学院医歯薬学研究部呼吸器・膠原病内科学分野教授)



講 師 **舘田 一博 先生** 東邦大学医学部微生物·感染症学講座教授

演題「COVID-19 との対峙一私たちの経験と英知を結集して一」

舘田一博先生ご略歴

1985 (昭和60) 年 3月 長崎大学医学部卒業

1985 (昭和60) 年 6月 長崎大学医学部第二内科入局

1990 (平成 2) 年 10月 東邦大学医学部微生物学講座 助手

1999 (平成11) 年 10月 米国ミシガン大学呼吸器内科留学 (2001年3月)

2005 (平成17) 年 12月 東邦大学医学部微生物·感染症学講座 准教授

2011 (平成23) 年 4月 同講座 教授

東邦大学医療センター大森病院 感染管理部部長

関係学会等

日本感染症学会理事 理事長(2017-)

日本臨床微生物学会 理事長(2018-)

※新型コロナウイルス感染拡大のため開催が変更または中止になる可能性が ありますので、最新の情報については青藍会ホームページをご覧ください



青藍会ホームページ

https://www.seirankai-tokushima.jp/

 共催 青 藍 会

 医 学 科

編集後記

徳島では早くも梅雨入りが宣言され、最近雨の日が多く湿っぽい日が続いていますが、皆様、体調はいかがでしょうか?昨年の今頃も Covid-19の流行で大変でしたが、まさか1年後の今も継続、しかももっと流行しているとは思っていませんでした。むしろ、今年の方が医療のひっ追が目立ち、徳島でも多くの病院で新型コロナ感染患者の治療を行っています。全国の医療機関で Covid-19感染に関して最前線で奮闘されている先生方に敬意を表します。

青藍会会報第97号ができ上りました。ほとんどの原稿でコロナ,コロナ,コロナ,とコロナー色です。診療活動の大変さに加えて、学会活動、教育、同窓会活動、日常生活あらゆる面で制限をされていることが、ひしひしと伝わります。また、元青藍会会長渡辺恒明先生が令和3年2月にご逝去され、渡辺先生の死を悼む文章が多数、掲載されています。個人的には渡辺先生は高松高校の先輩でもあり、高松のことのお話をしたり、小松島日赤病院(当時)に麻酔科の常勤医が赴任するまでは渡辺先生を中心に外科の先生方が麻酔をかけており、当時のご苦労されたお話をお聞きしたのを思い出します。さらに、本号の原稿締め切り後の令和3年4月には前徳島大学学長香川征先生のご逝去の知らせも入りました。謹んで哀悼の意を捧げます。

私と同期の岡本康裕先生が鹿児島大学の小児科の教授に就任したという原稿は読んで うれしかったです。徳島大学から鹿児島大学に移り、努力してがんばってきたことが報 われてよかったと思います。

ワクチン接種もようやく始まり、コロナの禍から解き放たれる日は近いと信じたいです。コロナ後には、皆様の診療、研究、教育、同窓会活動、日常生活が一気に好転することを期待いたします。今回、原稿作成にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。また、今後も青藍会会員にとって有益な会報を発行していきますので、よろしくお願いいたします。

田 中 克 哉 (医学部36期)

非 売 品 青藍会会報第97号

令和3年6月3日印刷 令和3年6月10日発行

編 集 徳島大学医学部医学科同窓会青藍会

〒770-8503 徳島市蔵本町 3丁目18-15 電話 (088) 633-7109 (内線2601) FAX (088) 633-3180 (青藍会事務室) E-Mail seiran@tokushima-u.ac.jp URL http://www.seirankai-tokushima.jp/ 振替 01680-4-8671 ゆうちょ銀行 一六九店 (169)

ゆうちょ銀行 一六九店 (169) 当座 0008671 青藍会

発行者 青藍会会長 荒 瀬 誠 治

印刷所 グランド印刷株式会社

徳島市万代町6丁目20-15 電話 (088) 622-8448